

タイルカーペット 注意事項

施工上のご注意

■ 施工後

- 施工後、一枚一枚の色差や目地が目立つ場合、及び色柄や仕上りに違和感がある場合は、部分的に差替えて下さい。差替える事で自然な感じが得られます。
- 養生シートで養生する場合に用いる感圧粘着テープの種類によっては、養生シートの上からパイルを変色させるものがあります。できるだけ感圧粘着テープの使用は避けて下さい。やむを得ず使用する場合は、事前に変色の有無を確認してからご使用下さい。変色の有無の確認については「東リ施工マニュアル」をご参照下さい。
- 施工後、台車の往来や家具の移動によって過度の応力がかかると、タイルカーペットが剥がれる事があります。重荷重のものを往来させる際には、合板などで保護して下さい。
- 引き渡し掃除の際、清掃作業者に漂白剤やサビとり剤をこぼさないように指導して下さい。パイルの変色を招きます。

！ 施工後、残材等を廃棄する場合は、許可を受けた産業廃棄物処理業者に処分を委託して下さい。梱包ケースなどを焼却する場合は、都道府県条例に基づき処分して下さい。タイルカーペットを燃やすと有害ガスが発生します。

メンテナンスならびに使用上のご注意

■ メンテナンスのご注意

- 汚れが付着した際には、すぐに汚れが広がらないように注意して拭取って下さい。時間の経過と共に除去しにくくなります。なお、汚染物質によっては除去不可能なものもあります。
- 部分的にシミとなった汚れを除去する際は、汚れの原因に応じたシミとり剤や中性洗剤などを使用して下さい。選択を誤ると、かえって変色などを招く可能性があります。

！ 美観の維持及びホコリ防止のため、歩行量に応じて電気掃除機あるいは真空掃除機による日常メンテナンスを行って下さい。業務用スペースでは、日常メンテナンスと併せて、用途に応じた定期的な集中メンテナンスをおすすめします。詳細は本カタログ510頁をご参照下さい。

- ブラシ付き真空掃除機を使用する際はパイルを損傷する可能性がありますのでご注意下さい。

■ 使用上のご注意

- タイルカーペットは熱によって変退色・溶融する可能性があります。たばこや火花の飛び散りなどは避けて下さい。
- 化学薬品や強い作用を持つ洗剤、漂白剤等により、変退色や変質を招く可能性があります。こぼさないようにして下さい。
- 殺虫剤など害虫駆除剤の中にはパイルを変色させる薬剤があります。事前に駆除業者にご確認下さい。
- 室内の湿度が低いと静電気が発生しやすくなります。加湿器などを使って湿度調整を心がけて下さい。
- 直射日光など、環境条件によって変退色の可能性があります。カーテン・ブラインドなどで日よけをして下さい。
- ある種の家具の脚ゴムやゴムマットなどのゴム製品、塗料、防腐剤、防虫剤などによって汚染され変退色を招く可能性があります。これらに直接触れないようにして下さい。
- 土砂の持込みなどが予想される場所では、泥よけマットなどを出入口に設置し、室内に土砂が持込まれない工夫をして下さい。
- パイルがホツレた場合、ホツレの伝線を防ぐためにも、すぐにハサミでカットして下さい。
- ハイヒールや家具などの局部荷重により、へこみ跡が残る可能性があります。特にスノコ状の二重床の場合は、充分にご注意下さい。
- コンクリート壁面を流れ落ちる結露水は、パイルを変色させたりカビを発生させる原因となります。換気をよくするなど、結露を発生させない工夫をして下さい。

！ タイルカーペットの剥がれ、反り、膨れなどが生じた場合は、即座に補修して下さい。放置しておく、全体に影響が及び、美観を損なうほか、転倒事故を招く可能性があります。

- 素材固有の臭いがあります。換気を心がけて下さい。